2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330312050	保育者論 Requirements for Nursery Teacher	伊藤　久美子	✔		2	必修	1後期

科目の概要

保育という仕事は、子どもの育ちを支える大変尊い仕事です。子どもとかかわる保育者は、子ども一人ひとりを理解した個別の対応のみならず、保護者の支援、豊かな教養や高い倫理観も求められます(DP①.③)。今後も変化し多様化していく社会に対応する力を身に付け、自分の個性を活かしながら、子どもが主体的に活動できる保育の援助を学びます。幼稚園教諭として６年間保育現場で勤務した経験を活かし、事例をもとに保育の具体的な場面の指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。DP⑤の実現を目指した意欲的な学修と自己課題の明確化により、求められる保育者の専門性を身に付けます。

学修内容	到達目標
① 保育者の仕事や役割について理解する。 ② 必要な知識、技法、倫理観について理解する。 ③ 保護者や地域における園の役割を理解する。 ④ 保育者の専門性について考察する。 ⑤ 子どもの主体的な活動を導き出す保育計画を理解する。	① 保育者の仕事や役割について説明することができる。 ② 知識、技法、倫理観について考察し、実践しようとする。 ③ 保護者や地域における園の役割を理解し、説明することができる。 ④ 保育者の専門性について保育実技を実践し、振り返りと考察ができる。 ⑤ 子どもの主体的な活動を導き出す保育計画を理解し、保育内容を実践することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	現代における子どもを取り巻く現状を、文献およびさまざまな媒体を利用して情報収集して整理し、保育における課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達を理解し、身につけた保育の知識や技術を取り入れた保育の方法をさまざまな観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	発表者の意見を共感的に受け止めて、その上で自分の考えを伝え、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト　　新しい保育講座　『保育者論』　汐見稔幸・大豆生田啓友 編著　ミネルバ書房
参考文献　『保育所保育指針解説書』
適宜プリント配布
【名古屋柳城短期大学】https://www.kamishibai.net/play/live.html

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育者論」は保育内容総論、保育原理、保育内容５領域を学ぶ上で必要な保育者の心持ちを学ぶ教科である。
資格との関連：保育士、幼稚園教諭

学修上の助言	受講生とのルール
・ 保育に関する文献や新聞記事など、現代の保育に関する情報を収集しておくこと。 ・ 知識や技術を身に付けるだけではなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。	・ 保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・ 授業中の私語は慎み、無断欠席、遅刻をしないように心がけること。 ・ 予習・復習を通して自分の調べたことや考えたことを講義ノートにまとめること。 ・ 携帯電話は必要なとき以外は鞄の中にしまうこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標 ①	②	③	④	⑤	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0						
学修成果	平常評価	小テスト	0						
学修成果	平常評価	レポート	60	✓	✓	✓	✓	✓	①保育の場面に相応しい保育者の対応や子どもとの関わりについて（10点） ・保育者の仕事と役割を理解できているか。 ②子どもが豊かに生活するための保育教材の活用方法（10点） ・教材の研究を行い、子どもの発達に相応しい教材を理解できているか。 ③多様な社会の中で自分たちができる支援について（10点） ・さまざまな方法で情報を収集し、現代の保育における問題点を理解した内容であるか。 ④絵本の読み聞かせの実践を通して理解した保育の方法について（10点） ・絵本の選定と準備・練習を経て、自己課題が明確になっているか。 ⑤自身の保育観と理想の保育者像（20点） ・自己の保育観と保育者像を構築し、自分の言葉で表現できているか。 ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（保育者の役割の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（保育者の援助の意義を理解した事例の活用の試み）：40% 知識の解決（保育技術に関する問題提起の事例と具体的な提案）：30%
学修成果	平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	✓	✓	✓	✓	✓	①保育の場面に相応しい保育者の対応や子どもとの関わりについて考え、グループで発表する。（10点） ・保育者の役割や子どもの姿が理解できているか。 ・自分の意見をわかりやすく伝え、他人の意見に共感的しながら議論できているか。 ・グループで協同して取り組んでいるか。 ②絵本の読み聞かせ（20点） ・保育のねらいに即した保育計画を理解した、子どもの年齢に合った絵本であるか。 ・読み聞かせのスピードや声の大きさ・抑揚に留意し、場面を想定した読み聞かせの表現ができているか。 ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（保育者の役割の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（保育者の援助の意義を理解した事例の活用の試み）：40% 知識の解決（保育技術に関する問題提起の事例と具体的な提案）：30%
学修行動	平常評価	社会人基礎力（学修態度）	10	✓	✓	✓	✓	✓	（主体性）予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）現代における子どもを取り巻く現状を、文献およびさまざまな媒体を利用して情報収集して整理し、保育における課題を見極めることができる。 （創造力）子どもの発達を理解し、身につけた保育の知識や技術を取り入れた保育の方法をさまざまな観点から考えることができる。 （発信力）聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。 （傾聴力）発表者の意見を共感的に受け止めて、その上で自分の考えを伝え、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性）授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) ①保育者の仕事や役割について十分に理解し、他人の意見も取り入れながら自分の考えをまとめ、自分の言葉で説明することができる。 ②知識、技法、倫理観について、文献を調べて記述し、他の人と議論しながら考察した内容を実践しようとする。 ③保護者や地域における園の役割を十分に理解し、具体的な支援について自分の考えを相手にわかりやすく説明することができる。 ④保育者の専門性を理解して保育実技を練習して実践し、保育の場面を想定した振り返りと考察から自己課題を明確にすることができる。 ⑤子どもの主体的な活動を導き出す保育内容を十分に理解し、保育のねらいをもとに計画された保育内容を、具体的に考えて実践することができる。 (A) ①保育者の仕事や役割について十分に理解し、自分の言葉で説明することができる。 ②知識、技法、倫理観について、文献を調べて記述し、考察した内容を実践しようとする。 ③保護者や地域における園の役割を十分に理解し、自分の考えを相手にわかりやすく説明することができる。 ④保育者の専門性を理解して保育実技を練習して実践し、保育の場面を想定した振り返りと考察ができる。 ⑤子どもの主体的な活動を導き出す保育内容を十分に理解し、子どもの年齢にあった保育計画の意義を理解して実践することができる。	(B) ①保育者の仕事や役割について理解し、自分の言葉で説明することができる。 ②知識、技法、倫理観について記述して考察し、内容を理解して実践しようとする。 ③保護者や地域における園の役割を理解したことを整理し、相手にわかりやすく説明することができる。 ④保育者の専門性を理解して保育実技を練習して実践し、振り返りと考察ができる。 ⑤子どもの主体的な活動を導き出す保育内容を理解し、子どもの年齢にあった保育計画を考察して実践できる。 (C) ①保育者の仕事や役割について理解し、説明することができる。 ②②知識、技法、倫理観について考察し、内容を理解して実践しようとする。 ③保護者や地域における園の役割を理解したことを整理し、説明することができる。 ④保育者の専門性を理解して保育実技を実践し、振り返りと考察ができる。 ⑤子どもの主体的な活動を導き出す保育内容と保育計画を理解して実践できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション・授業の進め方 ・保育とは何か、保育者とは何かを知る。	講義　動画視聴 Google classroomにて課題、フィードバック	講義の内容、進め方について理解できる。	（予習）教科書「はじめに」と目次を読んでくる。自分の卒園した園を調べておく。 （復習）動画視聴で理解できた保育者の役割についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	第1章 「保育者になる」ということ ・幼稚園教諭と保育士の違いについて理解する。	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	保育者に必要な資質・能力について理解できる。	（予習）教科書第１章の１を読み、自分がイメージする「保育者」の姿をまとめる。 （復習）幼稚園教諭と保育士の違いについてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	第1章 「保育者になる」ということ 倉橋惣三の「育ての心」から保育者を考える。	講義　　動画視聴 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	保育者のエピソード記述から子どもの内面の考察をすることができる。	（予習）教科書P14を読み、倉橋惣三について調べる。 （復習）倉橋惣三のエピソードを読んで授業の感想をまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	第２章 第２章「保育者の1日」 ・保育の1日の流れと保育者の1日の仕事を理解する。	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	保育所の1日の流れを知り、保育者の仕事の内容を理解することができる。	（予習）幼稚園と保育所のデイリープログラムを調べる。 （復習）グループワークの内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	第2章 「保育者の1日」 ・保育者の仕事の理解と役割について理解する。	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	保育所の1日の場面に対する保育者の対応と役割を理解できる。 保育者と子ども、保護者、職員との関係について理解できる。	（予習）教科書第２章を読み、1日の場面ごとの流れを調べる。 （復習）保育の１場面をピックアップし、保育者として配慮する点をまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	第３章 「子どもの思いや育ちを理解する仕事」 ・エピソード記録から子どもを理解する。	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	エピソード記録を読み取り、子ども理解を考えることができる。	（予習）年齢別の子どもの発達を調べる。 （復習）グループワークの内容をまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	第３章 「子どもの思いや育ちを理解する仕事」 ・エピソード記録から、保育の場面に相応しい保育者の対応や子どもとの関わりについて考え、発表する。	グループワーク 発表・振り返り	幼稚園と保育園の違いに気付きながら、保育者の職務について学ぶ。 DVDの感想をプリントにまとめる	（予習）自分が通っていた園の幼稚園教諭・保育士との関わりのエピソードをまとめる。 （復習）保育者の場面に相応しい対応についてグループで発表した内容を振り返り、学んだことをまとめる。 ※レポート提出	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	第４章　「子どもと一緒に心と体を動かす仕事」 ・幼稚園と保育所の違いについて環境を視点に考える。	オンデマンド Google classroomにて課題、フィードバック	幼稚園と保育所の違いについて考え、環境を通して営まれる保育について理解する。	（予習）乳児と幼児の遊びを調べる。 （復習）遊びを通して保育者が配慮する点についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第５章　「豊かな文化や自然との出会いをつなぐ仕事」 ・豊かな生活を作り出す保育者のあり方	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	豊かな生活を作り出す保育者の４つの視点について理解することができる。 子どもが豊かに生活するための保育教材の活用について理解する。	（予習）好きな絵本を選び、内容を理解する。 （復習）保育教材の活用について学んだことをまとめる。 ※レポート提出	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	第６章　「保護者や家庭と一緒に歩む仕事」 ・保護者支援、子育て支援の重要性を学ぶ。	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	なぜ保護者支援が必要なのか、多様な社会の中で自分たちができる支援について考える。	（予習）自分が住む地域の子育て支援施設を調べる。 （復習）子どもを取り巻く社会の問題点についてまとめる。 ※レポート提出	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	第７章　「学び合う保育者」 ・保育の場における保育者の成長と同僚関係	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	保育の省察と保育研修、保育現場での語り合いの重要性について考えをまとめることができる。	（予習）保育者の研修制度について、教科書ｐ154～155を読む。 （復習）保育者同士の良好な人間関係構築について考えをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	第８章　「保育者の専門性」 ・保育者の専門性と職業倫理について理解する。	講義　グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	保育者の専門性について改めて考え、クラスにとって相応しい倫理的雰囲気について理解できる。	（予習）保育に活かせる自分の長所と、課題となる短所について考えをまとめる。 （復習）クラスの倫理的な雰囲気作りについてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	「絵本の読み聞かせ①」 ・実践を通して保育者の専門的技術を学ぶ。	グループワーク 発表	絵本の読み聞かせの実践を通して保育技術を身につけ、保育のねらいと内容を理解した保育の方法を理解する。	（予習）自分が選んだ絵本の読み聞かせの練習をする。 （復習）読み聞かせの実践から学んだことをまとめる。 ※レポート提出	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	「絵本の読み聞かせ②」・実践の学びと振り返り	グループワーク 発表	絵本の読み聞かせの実践を振り返って省察し、自己課題を明確にする。	（予習）さまざまな種類の絵本を読む。 （復習）読み聞かせの実践を振り返り、保育の場で活用したい絵本を調べてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」 ・保育者として必要なことは何か、理想の保育者像を目指すための課題を考える。	今までの授業を振り返り、レポートを作成する。	求められる保育者の姿を理解して、自身の保育観から理想の保育者像を具体的に考える。	（予習）授業で取り組んだ課題を見直す。 （復習）授業を終えた感想と、より良い保育者になるための自己課題をまとめる。 ※レポート提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力